

令和 6 年度第 2 回奈良市環境審議会会議録				
開催日時	令和 7 年 3 月 1 9 日（水）午前 9 時 3 0 分から 1 1 時 2 0 分まで			
開催場所	奈良市役所 北棟 6 階 6 0 2 会議室			
出席者	委員	藤井会長、小松原副会長（リモート参加）、境内委員、綿井委員、林委員、河野委員、小坂田委員、武田委員、土井委員、二宮委員 【計 1 0 人出席】（瀬戸委員、豊田委員は、欠席）		
	事務局	【環境部】 山口部長 【環境政策課】 増田課長、本田課長補佐、河合課長補佐 石飛係長、出口係長、佐藤、鈴江		
開催形態	公開（傍聴人 1 人）	担当課	環境部 環境政策課	
議題 又は 案件	1 奈良市地球温暖化対策地域実行計画の実績について 2 環境基本計画年次報告書「奈良市の環境」について 3 奈良市ゼロカーボン戦略アクションプランの策定について			
決定又は取り纏め事項	1 奈良市地球温暖化対策地域実行計画の実績について、承認された。 2 環境基本計画年次報告書「奈良市の環境」について、承認された。 3 奈良市ゼロカーボン戦略アクションプランの策定について、事務局より説明があった。			
議事の概要及び議題又は案件に対する主な意見等				
1 奈良市地球温暖化対策地域実行計画の実績について				
- 事務局より、奈良市地球温暖化対策地域実行計画の実績について、【冊子】「2024 年度（2022 年度実績）奈良市地球温暖化対策地域実行計画実績報告書」（案）を基に概要説明があった。 - 二宮委員より、奈良市域の電力消費量が 2021 年から 2022 年で増加している要因として、コロナが落ち着いたことによる移動の制限解除が考えられるとの説明があったが、他の要因があれば知りたい。 - 二宮委員より、「再生可能エネルギー設備導入施設」の表について、太陽光発電設備容量が 10kW とあるが、これは自家消費されているのか、売電なのか。売電目的であればそれほど大した温室効果ガス排出抑制には繋がらないのではないか。 - 二宮委員より、次世代型太陽電池について、今後数年間でペロブスカイト太陽電池などの技術が確立され、住宅の窓などに貼ることができる製品が流通するかもしれない。その中で、急いで既存の太陽光発電設備を公共施設に導入していくことが得策なのか検討の余地があるのではないか。 - 綿井委員より、「電力消費量と電気の二酸化炭素排出係数の推移」のグラフについて、電力消費量の部門別の数字は出ているのか。出ているのであれば増加しているのは、民生業務部門が要因か民生家庭部門が要因か教えてほしい。 - 綿井委員より、「再生可能エネルギー設備導入施設」の表について、備考の欄を設けて設置年度を記載してほしい。また、キロワットの表記は kW のように W（ワット）は大文字が正しいのではないか。				

- ・ 藤井会長より、「再生可能エネルギー設備導入施設」の表について、太陽光発電設備容量だけが書かれているが、その施設でどの程度発電しているか等、具体的な数値があると、市の取り組みが見えてよいのではないかと。
- ・ 境内委員より、奈良市で事業者向けに再生可能エネルギーの導入補助をしていると思うが、その実績や効果検証の結果があれば教えてほしい。

2 環境基本計画年次報告書「奈良市の環境」について

- ・ 事務局より、環境基本計画年次報告書「奈良市の環境」について、【冊子】「奈良市の環境 令和6年度（2024年度）版」（案）を基に概要説明があった。
- ・ 林委員より、基本方針ごとの指標別評価結果において目標値は何を基準に決めているのか、目標値の算出基礎については備考等で記載するとわかりやすいのではないかと。
- ・ 藤井会長より、単位のkw（キロワット）のw（ワット）は大文字にしてほしい。
- ・ 藤井会長より、単位のトンについて、アルファベット小文字のtと書かれている表記と、カタカナでトンと書かれている表記が入り交じっている。全体的におそらく本文中はカタカナのトンを使っていたように思うので表記を統一してほしい。
- ・ 藤井会長より、数値と単位の間に半角スペースを入れてほしい。
- ・ 藤井会長より、誤字脱字を修正してほしい。
- ・ 二宮委員より、奈良市の「環境こども版」にCO2削減は何のためにやるのかということを、子どもにわかりやすく追加して記載してほしい。

3 奈良市ゼロカーボン戦略アクションプランの策定について

- ・ 事務局より、奈良市ゼロカーボン戦略アクションプランの策定について、【冊子】「奈良市ゼロカーボン戦略アクションプラン」（案）、【資料1】「奈良市ゼロカーボン戦略アクションプラン」（案）に対する意見募集の結果等を基に概要説明があった。
- ・ 小松原副会長より、「奈良市ゼロカーボン戦略アクションプラン」（案）に対する意見募集の結果、整理番号10の内容について。再エネの普及において、防災や景観への配慮は重要である。配慮が必要なエリアをマップ上で示せているのであれば、市民や事業者にも公開してはどうか。
- ・ 二宮委員より、CO2の増加と地球温暖化の直接的な因果関係は証明されていないかも知れないが、大気中の温室効果ガスの濃度上昇が地上の温度上昇につながっていることは明確な事実である。つまり私たちが日常の生活から出すCO2排出量を減らすことは地球の温度上昇対策として効果的であると考えます。私たちの日常生活の中でも無意識にCO2を排出している機会があり、そのような身近な事例に触れながら、なぜCO2を減らさないといけないかについて記載してはどうか。
- ・ 二宮委員より、市として事業者にどのようなサポートをしているのか、していくことができるのかについて追記してはどうか。
- ・ 二宮委員より、奈良県では令和7年度より、県内中小企業のSDGsに関連する取組状況の「見える化」を図り、企業価値の向上に繋げることなどを目的として、「奈良県SDGs企業認証制度」が創設される。その他にも「環境アドバイザー派遣事業」などがあると思うが、県との連携をより密に行ってはどうか。

- 二宮委員より、コラム⑰について、「市民の皆さまへのお願い」に記載の内容を拡充すべき。個人的には新たに建設予定のクリーンセンターが果たす役割は非常に大きいと考えている。「市としてこういう目的を持ってクリーンセンターの建設事業を進めている」ということを明確に示すべきだと考える。

資 料	【冊子】「2024 年度（2022 年度実績）奈良市地球温暖化対策地域実行計画実績報告書」（案） 【冊子】「奈良市の環境 令和 6 年度（2024 年度）版」（案） 【冊子】「奈良市の環境（こども版）令和 6 年度（2024 年度）版」（案） 【冊子】「奈良市ゼロカーボン戦略アクションプラン」（案） 【資料 1】「奈良市ゼロカーボン戦略アクションプラン」（案）に対する意見募集の結果
-----	---